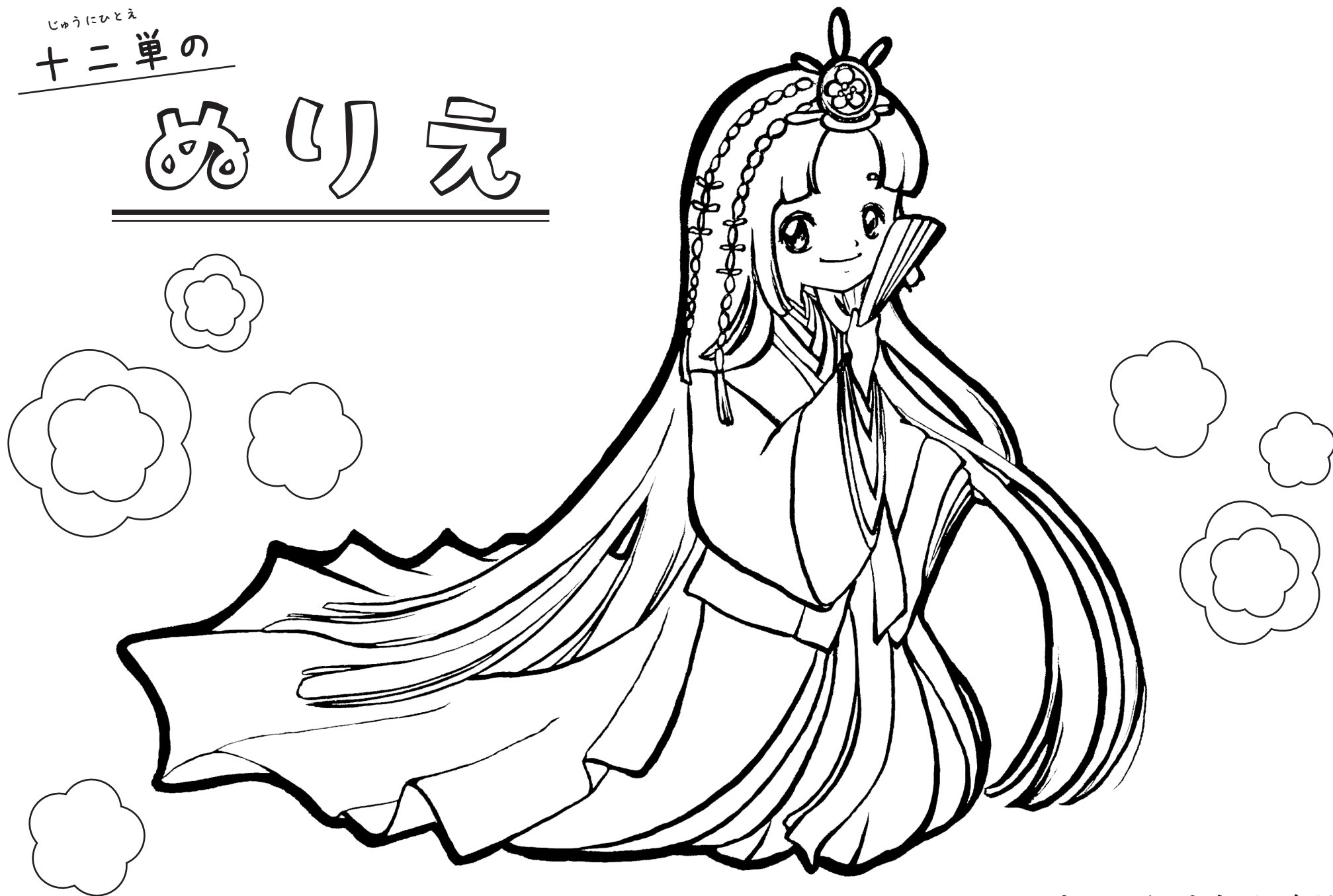


じゅうにひとえ
十二単の

めりえ



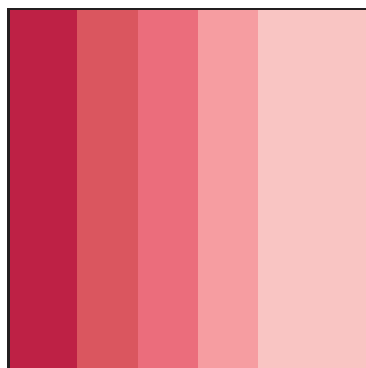
いつきのみや歴史体験館

かさね いろめ 襲の色目

いしょう かさ いろ く あ かさね いろめ
衣装を重ねてできる色の組み合わせを「襲の色目」といいます。

へいあんじだい じよせい き じゅうにひとえ まい うちき かさ いつづぎぬ ぶぶん
平安時代の女性が着ていた十二単には5枚の袷を重ねる「五衣」という部分があり、
きせつ あ いろ く あ たの
季節のイメージに合った色の組み合わせを楽しんでいました。

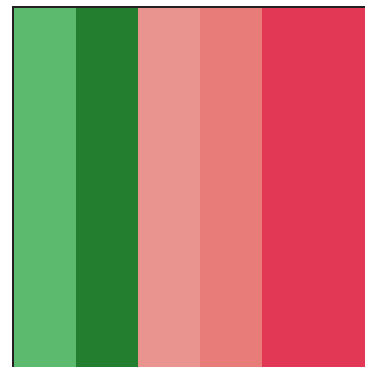
しゅんかしゅうとう き
春夏秋冬に着られる



こうばい におい
紅梅の匂



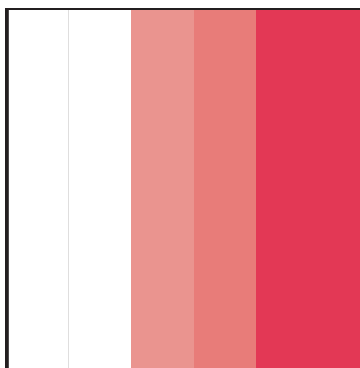
はる なつ き
春～夏に着られる



つつじ
躑躅



くれない うすよう
紅の薄様



ほか
この他にも
く あ
いろんな組み合わせがあるよ！

におい おな いろ つか
匂・・・同じような色を使ったグラデーション

うすよう おな いろ つか しろいろ
薄様・・・同じような色を使ったグラデーションから白色になる



かさね いろめ めいしょう いろ ぶんけん こと
＊襲の色目は名称や色が文献によって異なります。